

# 調査団報告書

調査No. 6

## 調査内容

名古屋城の金鯨に雄と雌はあるの？

## 調査手順

名古屋城関係の本を探してみると、ぴったりの本が見つかった。その名も『よみがえる金鯨伝説』。名古屋城の金鯨は、北側が雄で、南側が雌だそう。初代の金鯨は残念ながら戦災で消失してしまい、現在は昭和34年に再建された二代目。『知れば知るほど好きになる名古屋城』p36と『新世紀名古屋城博報告書』p99を見ると金鯨のデータが載っていて、雄と雌の違いだけでなく、初代と二代目の違いが分かる。雄の方が重さはあるけど、うろこの枚数は雌の方が多んだって。江戸時代の様子を知ることができるのは、名古屋城について網羅的に記録した『金城温古録』が残っているおかげだ。『名古屋城再建』を読むと、戦後の再建過程が分かっておもしろい。

## 調査結果

名古屋城の金鯨には雄と雌がある。名古屋城の本を調べていると、金鯨にはいろんなエピソードがあることも分かった。初代の金鯨は、何度もうろこの盗難事件にあたり、ウィーン万博に出品されたり…。二代目の金鯨は、2005年の新世紀名古屋城博で地上に降りた事がある。「尾張名古屋は城でもつ」というけれど、やはり金鯨の存在は大きい。

今回の調査で使った資料

『よみがえる金鯨伝説』新世紀・名古屋城博開催委員会 2005年

『知れば知るほど好きになる名古屋城』

名古屋城検定実行委員会／企画・編集 名古屋城振興協会 2009年

『新世紀・名古屋城博報告書』

新世紀・名古屋城博開催委員会 2005年

『名古屋城を記録せよ！』

名古屋市博物館／編集 名古屋市博物館 2008年

『名古屋城再建』名古屋タイムズ・アーカイブス委員会／編 樹林舎 2010年

